

指導活用技術  
分類名〔花き〕

指5	花径10cm以下の小輪ヒマワリ栽培技術
----	---------------------

宮城県農業・園芸総合研究所

## 要約

満開時の花径が7～10cmの小輪規格ヒマワリを栽培するには、地植え栽培の場合は栽植密度を12×12cmにサンリッチUP オレンジでは2粒播き、ビンセントネーブルでは3粒播きとする。また、園芸用育苗トレーに培土を入れた栽培方法では、40粒/箱をは種し、住友液肥2号を栽培期間中2回施用または基肥で燐硝安加里 S604 を2.0～2.5g/L 施用する。

〔普及対象：ヒマワリ生産を行う経営体〕  
〔普及想定地域：県内全域〕

## 1 取り上げた理由

東京2020オリンピックのビクトリーブーケで宮城県産の花径7～10cmの小輪規格のヒマワリを使うこととなった。当県で扱われている切り花用ヒマワリ品種の花径は通常12～15cmであり、小輪規格の栽培方法についての知見が少ない。また、関東の市場を中心に小輪規格の需要が高まっており、当県においても父の日や8月盆などの物日には小輪規格が求められている。このため、小輪ヒマワリの栽培方法を検討し、栽植密度や園芸用トレーを用いた栽培方法が明らかになったので指導活用技術とする。

## 2 指導活用技術

- (1) 当県で6月には種した場合、平均開花日数は概ね60日である（表1）。
- (2) 満開時の花径が7～10cmの小輪ヒマワリを栽培するためには、地植え栽培の場合は、12×12cm当たりサンリッチUP オレンジでは2粒播き、ビンセントネーブルでは3粒播きの栽植密度とする（図1・2、表2）。
- (3) 園芸用育苗トレー（50cm×35cm×8cm）を用いた場合は、赤玉土、腐葉土を1：1で配合した培土を入れ、40粒/箱をは種する（図3・4・5）。肥料は、液肥を用いる場合は住友液肥2号（N:P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>:K<sub>2</sub>O=10:5:8）を、は種10、17日後を目安に1,000倍希釈で栽培期間中2回施用し（表3）、固形肥料を用いる場合は基肥で燐硝安加里 S604（N:P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>:K<sub>2</sub>O=16:10:14）を2.0～2.5g/L 施用する（表4）。

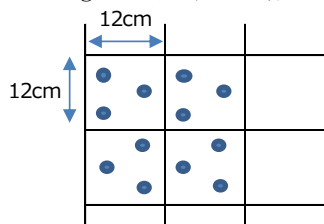


図1 地植え12cmネット3粒/目のは種方法



図2 地植え栽培

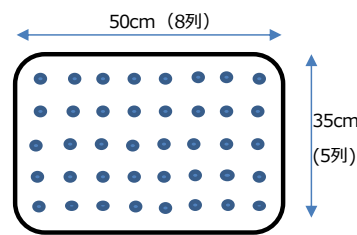


図3 育苗トレーへのは種間隔（40粒/箱）



図4 育苗トレー栽培

### 3 利活用の留意点

- (1) 地植え栽培の栽植密度については、高くなるにつれ、奇形花率と茎曲がり率が上がり、平均開花日が遅くなる傾向がある。
- (2) 宮城県名取市での令和2、3年度の結果であり、開花までの日数については年次変動がある可能性がある。

(問い合わせ先：宮城県農業・園芸総合研究所花き・果樹部 電話 022-383-8136)

### 4 背景となった主要な試験研究の概要

- (1) 試験研究課題名及び研究期間  
東京オリンピックビクトリーブーケに適したヒマワリ栽培法の検討(令和2、3年度)
- (2) 参考データ

表1 は種時期の違いによる開花日および開花日数  
(令和2年)

品種名	は種日	平均 開花日 (月/日)	は種から 開花まで の日数 (日)	品種ごとの 開花までの 平均日数 (日)
サンリッチ UPオレンジ (45日)	5月26日	7/25	61	61
	6月2日	8/3	63	
	6月9日	8/9	62	
	6月16日	8/18	64	
	6月23日	8/21	60	
ビンセント ネーブル (55~60日)	6月30日	8/26	58	57
	5月26日	7/21	57	
	6月2日	7/29	58	
	6月9日	8/4	57	
	6月16日	8/12	58	
	6月23日	8/18	57	
	6月30日	8/23	55	

※地植え12cm目ネット2粒播きで栽培。

表2 栽植密度の違いが規格に与える影響(令和2年)

品種名	1目当たり は種数	発芽率 (%)	平均 開花日 (月/日)	奇形花率 (%)	茎曲がり 割合 (%)	採花 <sup>Z</sup> 割合 (%)	規格内割合	1aあたり の規格内本 数 <sup>X</sup> (千本)
							花径 <sup>Y</sup> 7~10cm (%)	
サンリッチ UPオレンジ	1粒	91.7	8/6	3.0	3.0	86.2	34.0	151
	2粒	84.7	8/8	18.0	4.9	65.3	30.0	267
	3粒	87.0	8/9	27.7	11.7	52.7	16.3	217
ビンセント ネーブル	1粒	100	8/1	2.8	0.0	97.2	35.1	156
	2粒	98.6	8/4	7.0	7.0	84.8	35.9	319
	3粒	100.0	8/6	13.0	10.2	76.8	39.9	532

Z: は種数に対し、奇形や首曲りがなく収穫できたものの割合

Y: は種数に対し、発芽し奇形や首曲りがなく切り花長50cm以上、花径7~10cmのもの割合(満開時)

X: 1aあたり1目1粒播きで4,450粒播いたと想定

※: 令和2年6月10日は種、12×12cmフラワーネット、無施肥(残存肥料のみ)

表3 ヒマワリの育苗トレー<sup>Z</sup>栽培における施肥量（液肥<sup>Y</sup>）の違いが規格に与える影響（令和2年）

品種名	試験区	発芽率 (%)	平均 開花日 (月/日)	奇形花 率 (%)	茎曲が り割合 (%)	採花 <sup>X</sup> 割合 (%)	規格内割合
							花径 <sup>W</sup> 7~10cm (%)
サンリッチ UP	無施肥	51.7	8/9	51.4	0	25.1	0.0
	1回施肥	58.3	8/7	24.5	0	44.0	5.4
	2回施肥	51.7	8/6	16.9	1.7	42.1	28.5
ビンセント ネーブル	無施肥	95.8	8/9	22.9	0	73.9	0.0
	1回施肥	93.3	8/7	12.4	2.2	79.7	44.8
	2回施肥	96.0	8/6	0.0	2.2	93.9	84.5

Z：園芸用育苗トレー（50cm×35cm×8cm）

40粒/箱直まき，赤玉：腐葉土=1：1

Y：住友液肥2号（10-5-8）1000倍希釈，2L/箱

1回施肥：は種10日後に施用，2回施肥：は種10日後と17日後に施用

X：は種数に対し，奇形や首曲りがなく収穫できたものの割合

W：は種数に対し，奇形花および茎曲がりではない切り花長50cm以上，花径7~10cm（満開時）

※令和2年6月8日は種



図5 育苗トレー栽培の生育様子

表4 ヒマワリの育苗トレー栽培<sup>Z</sup>における施肥量（固形肥料）の違いが切り花品質および規格内割合に与える影響（令和3年）

品種名	試験区	発芽率 (%)	平均 開花日 (月/日)	奇形花 率 (%)	採花 <sup>Y</sup> 割合 (%)	規格内割合	
						花径 <sup>X</sup> 7~10cm (%)	
サンリッチ UP	無施肥	97.5	7月21日	42.5	17.2	0.0	
	CDU <sup>W</sup> 1.5g/L	95.0	7月20日	27.5	13.4	11.9	
	CDU 2.0g/L	90.0	7月22日	17.5	18.6	14.9	
	CDU 2.5g/L	90.0	7月22日	30.0	9.7	11.9	
	オレンジ	S604 <sup>V</sup> 1.5g/L	87.5	7月22日	30.0	7.5	11.9
		S604 2.0g/L	85.0	7月23日	22.5	10.5	20.8
	S604 2.5g/L	90.0	7月23日	7.5	21.9	20.8	
ビンセント タンジェリン	無施肥	100.0	7月30日	12.5	32.9	1.5	
	CDU 1.5g/L	100.0	7月21日	7.5	26.4	25.8	
	CDU 2.0g/L	80.0	7月21日	15.0	15.5	14.2	
	CDU 2.5g/L	82.5	7月22日	2.5	13.8	16.8	
	S604	1.5g/L	80.0	7月21日	5.0	22.2	23.7
		2.0g/L	95.0	7月22日	0	25.8	27.3
	2.5g/L	92.5	7月23日	5.0	17.8	26.5	
ビンセント ネーブル	無施肥	95.0	7月20日	25.0	20.2	7.5	
	CDU 1.5g/L	85.0	7月17日	20.0	18.6	12.5	
	CDU 2.0g/L	100.0	7月18日	15.0	22.1	27.5	
	CDU 2.5g/L	100.0	7月17日	17.5	23.4	12.5	
	S604	1.5g/L	100.0	7月17日	12.5	27.3	20.0
		2.0g/L	97.5	7月18日	12.5	23.5	22.5
	2.5g/L	100.0	7月18日	10.0	22.4	40.0	

Z：園芸用育苗トレー（50cm×35cm×8cm）40粒/箱直まき，赤玉：腐葉土=1：1

Y：は種数に対し，奇形や首曲りがなく収穫できたものの割合

X：は種数に対し，奇形花および茎曲がりではない切り花長50cm以上，花径7~10cm（満開時）

W：CDUたまご化成（15-15-15）

V：燐硝安加里604（16-10-14）

※：令和3年5月27日は種

(3) 発表論文等 なし

(4) 共同研究機関 なし